

母校応援報告

ラグビー応援報告

花園のラグビー全国大会と
春の選抜大会を観戦して

1 花園全国大会の観戦

67回目の出場となった花園はBシード校となり、2回戦の群馬県代表・明和県央高校との対戦は、41対7と順調に勝ち上がり、3回戦は元旦と同じくBシード校で優勝候補の一角である東海大仰星校との対戦であった。昨秋の関西遠征時は、大差で敗退した相手であった。

前半は、相手バックスの素早い展開力に対応出来ずに3トライを奪われ、秋工はPG2本の得点による6対17で終えた。

後半は風下であったが、FW、BK一体となった粘り強い攻撃で3トライを奪い、27対22と逆転した。残り10分位の場面であったが、応援席の熱狂は最高潮に達した。結果的には、残り5分というところで、相手にトライを許し、試合終了間際には相手ゴール前に攻め寄りあと一歩のところまで追い詰めたがトライを取る事が出来ずに、27対27の引き分け、トライ数差で準々決勝進出には至らなかった。

この後の東海大仰星高は、我が校との対戦を糧にして、優勝した事を考えれば、優勝チームと引き分けたという実績は大いに評価しても良いと思います。

ラグビーの対戦では、番狂わせという結果はありません。優勝チームと引き分けたという事はそれだけの実力があったという事であり、その経験は今年の新チームに引き継がれていく事を期待します。



秋工トライ・花園



ナマハゲの応援・花園

2 春の選抜大会を観戦して

毎年埼玉県熊谷市で開催される全国高校選抜大会は、今年の新チームによる大会である。私立高の百名を超える部員であれば、新チームでの編成も容易であるが、公立校ではまさに新チームであり春の段階で、私立強豪校との対戦は厳しいものがあります。

予選リーグの3試合は、東海大仰星戦10対45、埼玉の昌平校戦38対5、東福岡校戦21対53という結果で、この段階では強豪校の展開力に対応出来ませんでした。



モールトライ(昌平戦)・選抜大会



応援・選抜大会

3 ラグビー部の今後の発展について

高校ラグビー界は、西高東低と言われて久しくなりました。過去10年、東日本で全国大会ベスト4以上に進出したのは、桐蔭学園(神奈川)6回、國學院久我山高(東京)、茗溪学園(茨城)が各1回だけで他は全て関西以西のチームです。

東北では2002年の仙台育英が最後で、全国の公立校で言えば、奈良県の御所実業高が過去10年でベスト4以上に5回進出しているだけで他はありません。

人口減少率、子供の出生数共に全国最下位の秋田県にあって、公立校の母校が、今後部員を如何に確保し、全国大会でベスト8以上を目指していくかは、監督以下スタッフに委ねるだけで達成出来るとは思えません。

御所実業高は、御所市民を巻き込んだラグビーフェスティバルを毎年夏に実施し、地域底辺拡大のためのラグビー教室も実施しているように、勝ち続けていくためのシステムを今後構築していく必要があると思います。そのためには、学校、卒業生、後援会、父兄会等たくさんの方々の理解とご協力が不可欠であると共に、ご協力が得られるようなラグビー部OB会の情報発信をしなければと1-OBとして思っています。

花園で卒業生、秋田県民に再び歓喜の渦を巻き起こして欲しいとの願いを込め今後のご協力、ご声援を賜りたいと思っています。